

武蔵野市地域自立支援協議会 全体会 コメントシート集計

※原文のまま掲載。個人名など個人情報がある場合は、一部加工しています。

＜相談支援ネットワーク部会へ＞

- ・前年度の提言を深掘りするプロセス、わかりやすかったです。「そうだなむさしの」で取り組んでいることや、部会の事例について聞いてみたいと思いました。
- ・分野は違うが部会の中で共通のテーマが見つかる。すでに分野を超えた知識を取り入れていると思うが、事例を通してより知識の広がりにつながると思う。良い取り組みだと感じた。
- ・こちらの部会に参加していますが、自身の所属する分野を超えて意見交換を行うことで自身の視野が広がりました。また、年代が異なっているも、共通する課題があるということも勉強になりました。
- ・40 例の事例検討は素晴らしいと思いました。「そうだなむさしの」へつながっていくことを期待しています。
- ・事例からの課題抽出の手法は他の部会でも参考になると思いました。個人情報のデータのまとめ方等も共有していただけるといいと思います。まとめられた課題は障害分野だけでなく他分野に跨ぐ内容なので、高齢や児童、重層的支援体制整備等の主管課等とも共有いただけると良いと思いました。
- ・他分野に跨る約 40 事例を検討されたとのこと、大変な労力だったと思いますが、とても意義深いことだと思います。
- ・とても分かりやすく資料がまとまっていて、みなさんにも伝わったと思います。
- ・「こぼれ落ちることのない相談支援」は、とても重要な役割だと思います。特に気になるのは発信が無い（困ったこと等あるけれど）人たちの相談に結びつけることができるか。難しい課題と思いますが、取り組んで欲しい内容と感じました。
- ・個人的にはぜひ相談支援事業所連絡会ができればよいなと思っています。顔の見える関係性からはじめ、実績を積み重ねていければと思います。
- ・ライフステージをまたいで分野を超えてオーバーラップして支援して間を埋めていくことの大切さは、とても同感できること。事例から課題抽出できたことも非常に良かった。

- ・計画相談に限定しない視点は幅広い課題を抽出できる視点で良いと思う。事例を通じて困りごとが共有でき、課題をより具体化できる。任意の会をオフィシャルにしたことで生じるメリット・デメリットを知りたい。
- ・40の事例検討、子どもから高齢まで幅広い層の支援者が集まって進められたことは素晴らしいことだと思います。事例を深めるだけでなく、そこから見えてくる地域課題の抽出まで導き出せたのは評価できる。
- ・第2回で話し合われた類型化、特徴が知りたいです。
- ・ライフステージごとにふるいにかけられるような制度になっている現実があることを知りました。
- ・「そうだネむさしの」をどう支援に生かすことができるのか。可能であれば任意のネットワーク団体から公的なネットワークに発展していけると良いと感じた。

＜地域移行部会へ＞

- ・「にも包括」の協議が形になっていくと良い。地域のアセスメントの方法について、当事者の意見を聞いた上で進めていけると良いと感じた。
- ・ニーズ調査の成果が上がっていたが、病院側とのやりとりだけでもとても労力がかかったと思う。来年度実施することで、しっかりとしたニーズが明らかになり、地域移行に繋がってほしい。
- ・今年度の部会ではニーズ調査の準備を重点的に行ったとのことで、次年度のニーズ調査でどのようなお話を伺えるのか、興味深く感じました。
- ・「にも包括」を具体的にしていただけることを期待しております。高齢や児童との連携も大切と思います。
- ・にも包括の協議については、今の部会での位置づけで十分検討が進められるのか、別の検討の場を設ける必要性についても併せて検討いただきながら活動できると良いのではないかと思います。
- ・「にも包括」というケアシステムがあることを知れた。
- ・「にも包括」の正式名称が報告書のどこかに記載してあるといいなと思いました。ニーズ調査の結果が気になりました。
- ・1年かけて内容を検討したニーズ調査が、どのような成果につながっていくのか楽しみです。
- ・地域移行は、精神障害者が対象と考えられがちですが、本来は知的障害など施設入所が長期化している方も対象のはずです。地域移行部会の取り組みを協議会で共有することで武蔵野市の障害者全体の福祉が向上することを期待したいと思います。
- ・長期入院している方への退院に関するニーズ調査は興味深いと思った。

- ・長期入院患者本人への調査はとても重要であると感じました。インタビュー形式で行っていただくことで言葉だけではない本人の気持ちも汲み取れる機会になるのではと思います。本人の意見もまずは必要ですが、将来的には連携する病院スタッフの意見もあっても良いのかなと思いました（個人情報への難しいところはあるかと思いますが）。
- ・ニーズ調査の実施とアンケート調査結果が興味深い（インタビュー形式）。
- ・長期入院患者の気持ちを知ることによって必要なサービスが見えてくる。一方、地域に戻すと言っても土台は大丈夫なのかという不安もある。是非、調査は実現してほしい。
- ・当事者へのインタビューはとても意味のあることだと思います。来年度調査実施を期待しています。
- ・患者さんの声や医療従事者の方が抱える大変さが反映されるような動機づけ支援になればいいなと思います。
- ・生の声、現場の声は決して無視できないものと考えます。

＜住まい部会へ＞

- ・今年度は一人暮らしにフォーカスしているが、グループホーム、入所施設についての市内の課題についても検討していけると良い。地域で暮らし続けることが難しくなるケースが多く感じる。
- ・共通認識となった「一人暮らしの意義」とは何だったのでしょうか。GHの数がなかなか増えない中で、暮らし方の1つである一人暮らしがどんどん増えていけると良いと思いました。
- ・一人暮らしをしたい、でも何をしたらいいのか、まず行動に移すきっかけとして、リーフレットのように手に取れるものがあることが大切だと思う。本人、親ともに、一歩踏み出すきっかけになってほしい。
- ・武蔵野市の特化した地域情報を盛り込むのは非常に良いと思いました。一人暮らしについてイメージを持つことに有効と感じます。
- ・一人暮らしをすることに難しい現実がある中で、リーフレットの作成においてポジティブな要素を盛り込む点はとても良いと思いました。「一人暮らしができる」という支援機関の推薦状があるととても心強いと思いました。
- ・将来的に、地域の不動産業者や大家さんに働きかけられる活動があると良い。
- ・聞き取り内容を拝見し、地域に広く障害者に対する理解を促すような関わりも必要に思いました。
- ・大家さんへの理解を得る難しさをどう解消していくか今後は気になります。

した。

- ・当事者の方々の一人暮らしの意味はそれぞれにあり、課題も多岐にわたるのだと改めて感じました。
- ・一人暮らしの意義を考えるとという点については、地域移行部会や動機づけ支援にも関連してくるポイントだと感じました。どういう形になるかは検討の余地はありますが部会間の連携ができると良いかもしれません。
- ・「審査が通らない」そういう時に、障害がある場合は法人格や自治体で補償等するというサービスがつけると良いなと思いました（なかなか難しいことですが）。
- ・リーフレットの作成について、記載を検討している内容が一人暮らしについてのわかりやすく前向きに考えていけるような内容で良いと思った。
- ・「障害者の一人暮らしの意義」について様々な意見を基に改めて支援者も考える機会はとても良い場だと思います。当事者向けのリーフレット作成も簡単ではないと思いますが、とても貴重な成果物になるのではないかと思います。完成品、ぜひ見てみたいです（地域移行についての聞き取りも居住・入所部門では必須となってきますので）。
- ・リーフレットの完成が楽しみです。最初から一人暮らしをあきらめている人が選択肢を増やせるきっかけになるといい。
- ・保証人がいない方など、住まいの安定が難しい印象。収入、家賃等、解決しなければならないことがたくさんある。リーフレットは効果が期待できるが、相談窓口を充実させた方がいいのでは？理解者をどう増やしていくか？
- ・様々な暮らしを大切にすることとは一人ひとりの生き方を認めていくということ。その人らしく生きていけるようにリーフレットというツールをつかっていけたらと思います。
- ・「一人暮らしの意義」とは？から、話し始められたのが、とても良いなと思いました。
- ・一人暮らしに対して不安を持つ当事者の方やご家族の方に対して、リーフレットの内容が一人暮らしを後押しするような内容になっていて、とても良いなと思いました。完成したら仕事で当事者の方と活用していきたいです。
- ・暮らしのニーズに応えるには、受け入れ側の理解、信頼も必要か。

＜交流つとどい部会へ＞

- ・実施している活動に、ハンデがあり参加できない方のために市内のコミセン職員や当事者と意見交換をして解決する流れ、まさに「地域課題の解決」だと感じました。
- ・交流する前の段階で障壁があったが、1回の訪問でコミセン全体に対してバリアフリーのメッセージを届けることができた。今後もバリアフリー化に向けて、ぜひ取り組んでほしい。
- ・コミセン以外にも当事者が実際にその場に行き、改善の提案ができると良い。学校や公共施設の建て替えの検討にも意見を出していけると良い。
- ・実際に当事者の方が現場に出向くことで、地域の方にも知ってもらえることがあると思いました。
- ・当事者が積極的に地域へ働きかけることで、バリアフリーが進むことが素晴らしいと思いました。交流の大切さを再認識しました。
- ・きっかけ1つで意見交換の場で市の職員も含めて話ができ良かったと感じました。
- ・地域との交流がバリアフリー化につながった報告、一筋縄ではいかず大変なこともあったようですが、良い成果につながったのは、皆さんが粘り強く取り組まれたからだろうと感じました。
- ・コミセン改修のタイミングを有効に活用し、意見交換ができたことは大きな成果だと感じました。「私たちのことを私たち抜きに決めないで」の障害者権利条約にまさしく！と思いました。
- ・素晴らしい取り組みで、なおかつ成果につながった活動で良かったと感じました。
- ・誰もが利用しやすい環境を整えることはもちろん、発表にあったように利用する当事者の方を交えて整備していくことの大切さを感じた。
- ・当事者だけ、地域だけとならず、お互いの意見を大切にして交換しながら進めており、とても良い取り組みだと感じました。今すでにあるつながりを使うことができているなと感じました。
- ・困りごとをそのままにせず、地域住民と当事者と対話する場を設け、改善していけるというプロセスが良かった。
- ・交流する場所も課題となることを知った。バリアフリー化に向けた具体的な動きなど、とてもいいと感じた。
- ・コミセンに出向いていき、当事者の方から使いやすい施設づくりについて提言するということは、とても意義あることだと思います。
- ・当事者の方と意見交換をしながら、購入、改修工事等の話し合いを進めていくのが、とても良いと思いました。当事者部会が地域に当事者の声

を届ける役割になっているのがすごいなと思いました。協議の場に当事者の方が参加するのが当たり前の武蔵野市になればいいなと思います。

＜障害当事者部会へ＞

- ・当事者だから感じることのできる地域生活におけるバリアについて、もっと聞いてみたいと思いました。立ち上げ当時の方の思いなど、上がった声に対して地域がどのように取り組んでいるのか気になりました。
- ・知らない間に決まっているということがある。当事者の意見も聞いてほしい。
- ・「私たちのことを私たち抜きで決めないで」本当にそうだと感じます。そのためにも本人にわかりやすい手段で情報提供をする大切さをお話を聞いて改めて思いました。
- ・「参加メンバーが増えない」と聞いている。当事者の方の活動をサポートできる仕組みがあると参加者が増えるのか。協議会の活性化につながる大事な要素だと思う。
- ・部会においてどんな障害を持っても同じように参加できるように発言の前に自分の名前を述べたり情報をどのように本人に伝えていくのか、一人ひとりに働きかけている点がとても印象に残りました。
- ・とても活発に活動されていることが素晴らしいと思いました。各部会に当事者が参加してくださるのは、とても大きな影響があると思います。
- ・大変意義のある取組報告と思いました。コミセンだけでなく、指定避難所や福祉避難所等、危機管理上、障害者の利用が現実的な施設（学校等）でも同様の取り組みができると良いように思います。
- ・当事者の方の率直な思いを聞くことができました。同じタイミングで情報を得る権利、はっとさせられました。
- ・毎月必ず開催されていることで様々な協議がなされていると思いました。
- ・「私たちの意見」様々な当事者の声を拾い上げて発信して欲しい（知的、身体（盲ろう含めて）、高齢、精神、学生、内部障害、難病）。
- ・まだバリアフリーが整っていない施設もあるのだと感じた。当事者部会でされている開催する上での工夫を、所属している部会でも意識していきたいと感じた。
- ・部会内で他部会の情報共有を行っているとのことで、とても大切だなと思いました。「私たちのことを私たち抜きに決めないで」という言葉、改めて意識したいと思いました。
- ・コミセンで障害者お断り、驚きました。コミセンの見学会をされていること、「なまの声」がきけて大切なこと。

- ・開催するまでと当日の進行の時に必要な配慮などをしっかりと考えていることを、引き続き、できることできないことをより明確にしてほしい。自ら外に出ていく姿勢を続けてほしい。
- ・会の進め方にも合理的配慮がなされていることは、とても感心しました。
- ・私たちの声バージョン3、楽しみにしています。当事者部会から各部会へ部会員を派遣してくださっているのは、ぜひ継続してほしいです。
- ・当事者の声そのもの。月に1度、そういった場があるのは良いこと。声なき声にはどう対応？

＜地域自立支援協議会（親会）へ＞

- ・グループディスカッションの機会、とても貴重でした。協議会の活動をよく知っていただくための取り組みについて考えたいと思います。
- ・年1回の全体会だが、協議会のシステムを確認するきっかけになる。地域の障害者のための取り組みについて、より意識できると思う。過去の成果について全体会で知ることができると思う。
- ・17年間の歴史があるということで、グループワークにもありましたが、どんなことが話し合われ、成果があったのかを知りたいと思いました。
- ・障害者支援において、協議会の役割は非常に大きいと思います。手間なこと多いと思いますが、よろしくお願いします。
- ・障害福祉分野以外の分野との連携も必要と思いました。
- ・各部会並びに各事業所、パブコメの内容が障害者福祉計画に反映され、福祉が豊かな市になってほしいと思います。
- ・部会をブラッシュアップしながら活動されていて歴史を感じました。
- ・17年間という長い歴史を振り返ってみるのもいい。
- ・年度末だけでなく、年2～3回程度の頻度で経過を知りたい。
- ・いろいろな意見を今後に生かして行ってほしいです。
- ・市政そのものなのだと知りました。
- ・親会で検討されたこと、意見が障害者福祉計画等にどう盛り込まれているのか、わかりやすく教えてほしいです。
- ・本日のグループワークでも意見が出ていましたが、私たちが行っている取り組みはやはり重要で大切であるので、地域に広げた情報共有の方法を模索することも大切だと感じました。